

指定管理者による公の施設の管理運営状況（令和5年度分）

施設名	茨城県県西生涯学習センター
施設所管課	生涯学習課
指定管理者	（特非）日本スポーツ振興協会
指定期間	R3.4.1～R8.3.31（5年間）

1 施設の概要

施設所在地	茨城県筑西市野殿 1371
施設の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・方針 県西地域の生涯学習を推進する中核施設として、市町及び関係機関等との連携を図りながら、「地域のリーダー育成・交流」「現代的課題へのチャレンジ」「若者のトップランナー育成」を柱に、地域課題・現代的課題へ向けた、学習情報・学習機会、並びに学習成果の活用場の提供等を行う。 ・事業推進のテーマ 新たな学びや活動への一歩～人づくり・地域づくり・仕組みづくりの生涯学習～ ・敷地面積 20,523㎡ ・建物延床面積 4,039㎡ ・施設（「IBARAKI FREE WiFi」利用可） 小講座室（4室）、中講座室、レッスン室、創作室、和室研修室、会議室 多目的ホール、情報図書コーナー、コワーキングスペース、野外ステージ 芝生広場、託児室（子育てコミュニケーションルーム）、ボランティア室等
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設設備、附属設備並びに備品の維持管理に関する業務 ・施設等の利用の承認業務及び承認の取り消しに関する業務 ・施設等の利用料等の収受等に関する業務 ・主催事業の実施（指定事業・自主事業）に関する業務 ・県への協力及び関係機関との連携に関する業務 ・その他施設の管理に必要と認められる業務

2 職員の状況

常勤職員： 12人	非常勤職員： 6人	合計： 18人
-----------	-----------	---------

3 収支状況

令和5年度 (単位：円)

収 入		支 出	
指定管理料	119,679,000	人件費（給与等）	57,946,102
利用料収入	6,316,650	指定事業費	7,810,000
指定事業収入	1,895,000	自主事業費	10,473,000
自主事業収入	11,871,133	維持管理費	58,150,490
その他（利息等）	20,210	修繕費	1,269,207
		その他	7,000,000
収入合計	139,781,993	支出合計	142,648,799

4 利用状況

	令和5年度実績	令和4年度実績	令和3年度実績
①年間利用日数(日)	313日	310日	277日
②年間利用者数(人)	81,729人	100,167人	66,609人
③利用料収入(円) (指定管理者収受額)	6,316,650円	6,777,130円	4,786,120円

5 サービス向上に向けた取組み

- ・茨城県生涯学習情報提供システムによるオンライン申込により、利便性向上に努めている。
- ・情報図書コーナーの書架や机の配置を整え、学習者が利用しやすい施設作りを行っている。
- ・談話スペースに、電子レンジや給湯ポットを無料で設置し、県民サービスの向上を図っている。
- ・ボランティアとともに、沿道等の自然環境を整え、住民の交流・憩いの場作りを行っている。
- ・夏期の熱中症対策のため、館内に大型扇風機等設置し、快適な空間作りを行っている。
- ・コワーキングスペースを無料で県民に提供し、県民交流・地域の活性化を図っている。
- ・IBARAKI FREE Wi-Fi を整備し、利用者サービスの向上を図っている。
- ・祝日により、月曜日の休館日が翌日以降の平日に振替えられる場合も、開館している。
- ・Facebook や Twitter、Instagram による双方向情報発信を行っている。
- ・Web ページ・電子メール・FAX・郵送等での施設等使用申請受付を実施している。
- ・館内清掃や消毒、検温（職員）等の基本的事項は継続して行い、安心安全な管理に努めている。

6 利用者満足度調査の結果及び対応状況

○実施方法

- ・前期（10月3日～10月20日）・後期（3月1日～3月17日）に利用者アンケート調査を実施
サンプル 309 人（前期アンケート 134 人、後期アンケート 175 人）

○調査結果

①開館日・開館時間

大いに満足 19.0%、満足 44.8%、ふつう 35.6%、不満 0.6%、大いに不満 0.0%

②職員・スタッフの対応

大いに満足 16.1%、満足 46.0%、ふつう 33.9%、不満 1.1%、大いに不満 2.9%

③施設の清潔さ

大いに満足 19.5%、満足 50.6%、ふつう 29.3%、不満 0.0%、大いに不満 0.6%

④プログラムの内容

大いに満足 23.0%、満足 46.0%、ふつう 25.3%、不満 3.4%、大いに不満 2.3%

⑤施設全体

大いに満足 15.0%、満足 40.8%、ふつう 42.5%、不満 1.1%、大いに不満 0.6%

○利用者からの意見等

【良い点】

- ・職員さん方が受講生のために一生懸命動いている姿、気を使っている姿に感謝しております。
- ・利用している皆様も、清掃を担当している方も意識しているので常にきれいなのだと思う。
- ・魅力を感じる講座が沢山あるので、つつい地元よりも、参加してみたくになります。

【悪い点】

- ・講座内容が美術、日本文化、歴史等が少なくなった。
- ・2回迄の予約がとれますが、もう少し、先迄(3回、4回)と取れる様にして欲しいです
- ・以前は歴史的な講座が必ず1科目はあったけれど今はあまりないように思う。

【要望】

- ・一階の図書コーナーで勉強させていただいているのですが、学生の方々が大きな声で雑談していることが多く集中しにくいです。職員の方から図書コーナーで騒いでいる方に注意をしていただきたいです。
- ・多様な趣味・興味に応える講座を作ってください。

○対応状況

- ・土日や祝日、夏休み等の学生が多い時期には、空いている講座室を学習室として開放し、学習が必要な方に、勉強しやすい環境を提供しました。
- ・県民の皆様のニーズ（趣味・教養等）に応える自主事業を今後とも開催できるよう努めます。

・予約については、多くの方にご利用いただけるよう2回までとしているところですが、その主旨をご理解いただけるよう、今後も十分な説明に努めてまいります。

7 管理運営状況の評価

評価項目	事業計画 (管理指標)	実績 (管理指標に対するコメント)	自己 評価	所管課 評価
維持管理	設備保守点検は、事業計画等に照らし適切か。	法定点検等、専門的な企業に業務を委託し、適切に管理している。 施設の老朽化に伴い、予想される経年劣化や、補修方法等についての情報を収集し、県へ報告するとともに、計画的に補修・改修が実施されるよう、保全計画を策定している。	B	B
	整理整頓・清掃が行き届いているか。 (建物・植栽等)	新型コロナウイルスやインフルエンザ等の感染症拡大防止を目的に、日常的に清掃・点検を実施し、施設の良い衛生環境、美観維持へ取り組み、利用者へ快適な空間の提供に努めている。 下館シニアライオンズクラブやセンターボランティアとともに、通行者への危険が伴う枝木の剪定や、沿道のアジサイの手入れにより、施設の環境美化に努めている。	B	B
	破損箇所の修繕は適切か。	安全かつ安心して利用いただけるよう、要修繕箇所に優先順位をつけ、迅速に修繕を行い、良質な環境の提供、安全管理に努めている。 部品交換で対応できる修繕は、専門職員が行う等、経費を削減しながら、基本協定書及び年度協定書に基づき適切に修繕を行っている。	B	B
施設運営	使用日数、使用時間等は守られているか。	関係条例等を遵守し、適正な運営を行っている。 開館日を増やす等の変更については、県へ事前に承認を得る等、適切な工程のもと行っている。 利用等に関する問い合わせや要望については説明責任を果たし、施設利用者へ周知・理解に努めている。	B	B
	予約・利用許可等、利用者への対応は平等・公正に行われているか。	Web ページ・電子メール・FAX・郵送等で施設等使用申請受付を行い、地域・世代にかかわらず利用しやすい施設づくりを行っている。 子どもから大人、高齢者から障がい者の方等、誰もが気軽に利用できるよう、車椅子の設置、UD フォントを使用した利用案内や広報紙等活	B	B

		用し、施設ホスピタリティーの充実を図っている。		
	創意工夫により、魅力ある自主事業の実施等、施設の利用拡大やサービスの向上が図られているか、	<p>利用者アンケートの基づき、趣味教養講座や、子ども体験活動の事業数を自主事業により開催し、利用者ニーズと青少年の健全育成に努めた。</p> <p>県民交流を目的とした大規模イベントである生涯学習フェスティバルやふれあいアジサイ祭り等、徹底した安全対策のもと、事故等無く運営できている。</p> <p>講座の受付や運営補助を高校生ボランティア活動の場として提供し、受講生の満足度、そして高校生の地域への帰属意識を高めている。</p>	A	A
	利用者の要望を把握し、運営に反映させ、満足度を高めているか。	<p>年2回の施設利用アンケート並びに事業ごとにアンケートをとり、利用者の要望等を把握するとともに、分析・評価・考察を行っている。</p> <p>また、施設エントランス及びホームページで、頂いたご意見への対応や回答を公開し、風通しの良い施設運営を行っている。</p>	B	B
運営体制	職員は適切に配置されているか。	<p>適切に人員配置を行っている。</p> <p>スタッフの個性を見出し、適材配置を行うとともに、体系的研修を実施することで、職員の業務に対する意識・モチベーション・職能を高めている。</p>	B	B
	要望、苦情等への対応は迅速かつ適切か。県へ報告しているか。	<p>要望や苦情等への初期対応に注力し、迅速かつ適切に対応するとともに、二次クレームに発展しないよう心がけている。</p> <p>また、県への報告も適切に行っている。</p>	B	B

	<p>事故・災害等、緊急時に備えた体制は確保されているか。</p>	<p>消防訓練並びに職員研修により、避難誘導體制を構築し、緊急時の対応に万全を期している。</p> <p>日常点検の徹底、情報図書コーナーに監視カメラを設置する等、いち早く緊急事態を察知できる仕組みを構築している。</p> <p>また、施設賠償責任保険や受託賠償責任保険に加入し、万が一の事態にも備えている。</p>	B	B
	<p>県、その他関係機関との連携は取れているか。</p>	<p>課題解決チャレンジ事業等、県西教育事務所や、各市町社会教育主事との連絡調整機能を高め、県西管内の運営上の課題等について、関係機関との協力・連携体制の強化を常に図っている。</p> <p>また、関東近県生涯学習・社会教育実践交流会へ毎年参画することで、新たなネットワークを構築し、効果的に新たな生涯学習事が創出できている。</p>	B	B
利用状況	<p>利用者数の状況は、計画を達成できているか。</p>	<p>施設利用料金収入では、当初予算6,312,000円の所、利用料金収入6,316,650円となり、計画を達成することが出来た。</p> <p>講座による学習団体の育成や、定員以上の申し込みが合った場合、追加で特別講座を開講する等、柔軟な対応も評価できると考える。</p>	B	C
	<p>施設の稼働率は、事業計画に照らして適当な水準にあるか。</p>	<p>業計画により、学習団体等の利用率が低い講座室や時間帯に主催事業を設け、継続活動を行う学習団体を育成する等、各講座室の利用率の向上と、平均化に務めたことが評価できると考える。</p>	B	C
収支状況	<p>収支計画が適正に執行されているか。</p>	<p>執行計画に基づき、適正に執行している。また、自主事業収入の増収分は、光熱水費高騰によるに経費拡大分に充てる等、効果的に執行し、利用者サービスの低下を招かぬよう、努めている。</p>	B	C
	<p>経費削減に向けた取組みがされているか。</p>	<p>ガラス張りのフリースペースにすだれを設置し、日射による温度上昇を抑え、また専門職員が自前で修繕を行う等、経費を縮減しながら、利用者が安心安全に利用できる施設管理に務めている。</p>	B	B

【総合評価】・・・各評価項目及び施設の性格・特殊性を考慮した総合的な評価

利用者目線での、開館日の増加や申込方法の多様化、さらには高齢者や障がい者への支援などに取り組むとともに、アンケート結果に基づいた事業改善や若年層を対象とした事業の拡大などに積極的な取り組みをしている。以上のことから、総合的に見て、良好であると評価できる。

- ※ ・実績（管理指標に対するコメント）欄については、指定管理者が記入する。
- ・総合評価欄については、所管課が記入する。
- ・自己評価、所管課評価欄について

評価	評価基準
A	事業計画を上回る成果があったもの
B	事業計画どおりの成果があったもの
C	事業計画を下回っており、改善努力が必要なもの